

- 系 統 2液型エポキシ樹脂系コンクリート
- 特 長 1) セメントコンクリートに比べて、物理的強度、化学的性能、耐久性に優れる。  
2) コンクリートへの接着性や耐薬品性に優れている。
- 用 途 1) 橋梁伸縮装置の端部補強用樹脂コンクリート
- 配 合 比

	結合材	顔料 (着色時)	骨材*			合計
	# 303A		接着剤用 珪砂4号	接着剤用 珪砂7号	接着剤用 乾燥粗骨材 # 812	
配合比	10kg	1袋	15kg	15kg	50kg	90kg
1m <sup>3</sup> 当たりの 標準使用量	240 kg	24 袋	360 kg	360 kg	1200 kg	2160 kg

顔料は色によって配合比(配合量)が異なる。

※必ず当社指定の「接着剤用珪砂4号」、「接着剤用珪砂7号」、  
「接着剤用乾燥粗骨材# 812」を使用してください。

- 使用材料
- # 303A…10kgセット(主剤+硬化剤)
  - 接着剤用珪砂4号…25kg/袋
  - 接着剤用珪砂7号…25kg/袋
  - 接着剤用乾燥粗骨材# 812…30kg/袋
  - 顔料(標準色:グリーン、ライトグリーン、グレー、ブラック) …0.1~1.0kg/袋  
※着色する場合に必要。標準色以外の色については、お問い合わせください。

可使時間の目安 # 303Aの可使時間

タイプ	冬用(W)			夏用(S)		
温度 [°C]	5	10	20	15	20	35
可使時間 [分]	90	70	30	40	30	9

比 重 2.15±0.10 (硬化物)

- 使用方法
- # 303Aをセット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
  - 主剤と硬化剤を、均一になるまで混合攪拌する。
  - SBコンクリートを着色する場合は、樹脂に顔料を添加し、さらに均一になるまで混合攪拌する。
  - 骨材を所定の配合で、パン型ミキサー等で混合攪拌する。
  - 混合した骨材に、攪拌しながら# 303Aを加え、均一になるまで攪拌する。
  - コンクリート敷設面にプライマーとして# 303Aを塗布する。
  - プライマーの硬化前に、コンクリートを転圧しながら、所定の厚さに仕上げる。

- 使用上の注意
- 接着面の表面処理を十分に行う。(レイトンス、汚れ、水分の除去)
  - 低温時には、# 303Aの主剤や骨材をジェットヒーター等により加温すれば、混合が容易になり、養生時間も短縮することが可能となる。

### ⚠ 注 意

- 健康上、注意を要する物質を含有しています。
- 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
- 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
- 詳細についてはショーボンド # 303Aの安全データシート(SDS)を参照してください。